豊島北小　学校だより
てきたっこ
学校教育目標：人間尊重の精神を基盤として、創造性豊かで
心身ともに健やかな調和のとれた子どもの育成
令和８年（2026年）９月30日　No.7

実りの秋!!

朝夕の風に涼しさを感じ、少しずつ秋の深まりが感じられる季節となりました。9月後半は雨が続き、こどもたちも運動場で遊ぶ機会が少なかったのですが、元気いっぱいのこどもたちには教職員も元気をもらっています。

秋は「実りの秋」と言われます。春から積み重ねてきた学習やさまざまな経験が、少しずつ子どもたちの力となって表れてくる時期でもあります。できなかったことができるようになった喜び、友達と力を合わせて一つのことを成し遂げる達成感、そして、自分なりの目標に向かってねばり強く取り組む姿。日々の学校生活の中には、子どもたちの確かな成長を感じる場面がたくさんあります。こどもたちには、「〇〇の秋」として、自分でテーマをつくり過ごしてほしいと願っています。

こどももたちにとって新たな自信と成長につながる季節となるよう、今後とも温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

芸術の秋（音楽朝会）

9/28(月)音楽朝会がありました。今回はベートベンでおなじみの「よろこびの歌」を全校児童で合奏しました。1年生はビーズやボタンを容器の中に入れた手作りリズム楽器。2年生は鍵盤ハーモニカ、3~6年はリコーダー(6年はピアノ・木琴・鉄筋など)で曲を奏でました。学級・学年での練習は幾度かしてきましたが、全校児童で合奏するのはこの日が初めて。それぞれの奏でる音が合わさって、すばらしい「合奏」となりました。先生たちからも、「すごい!!」の言葉と拍手がわきあがりました。また一つ、てきたっこのすばらしい一面を発見しました。



人権参観ありがとうございました

9/30（水）の人権参観には、お忙しい中お時間をつくっていただきありがとうございました。今年は「福祉」をテーマに学習に取り組んできました。「福祉」とは、すべての人が安心して、自分らしく、幸せに暮らせるように、みんなで支え合うことです。

福祉には、

・お年寄りが安心して生活できるように支える（高齢者福祉）

・障がいのある人が自分らしく生活し、社会に参加できるように支える（障がい者福祉）

・子どもたちが安全で健やかに成長できるように支える（児童福祉）

・地域に住む人たちが、お互いに支え合って安心して暮らせる地域をつくる（地域福祉）

など、誰もが大切にされる世の中をつくっていこうとする願いが込められています。

「誰もが安心して過ごせるにするために、自分には何ができるだろう?」福祉について考えることは、遠くにいる誰かのことを考えるだけではなく、目の前にいる人を大切にすることから始まります。

11月には人権講演会があります。人権感覚豊かな“てきたっこ”に育ってほしいと願っています。